

## Alma機関とSUDOCの統合

Almaは、フランス全国目録であるSUDOCとの統合を提供するワークフローをサポートしています。この機能により、書誌レコードの変更をSUDOCからAlmaにインポートできます。これは、AlmaライブラリとSUDOC目録サービスであるABESとの間のEメール交換で処理されます。ワークフローの詳細については、[SUDOCワークフロー](#)を参照してください。以下は、インポート手順の開始を作動させるABESに送信されるEメールの例です。

```
From: <Library Email Address>
Date: <Date>
Subject: GET TITLE DATA
To: <ABES Email Address>
```

```
GTD_ILN=trytr
GTD_YEAR=2017
GTD_FILE_TO=SUDOC_FTP
GTD_ORDER=TR123*
GTD_REMOTE_DIR=SUDOC_FTP_DIR
```

このEメールは、ABESでABESのFTPサーバーまたはSFTPサーバーにある変更されたレコードのファイルを作成するプロセスを開始するものであり、件名が**GTD Status: 0**である返信Eメールを送信し、ファイルのリストが作成されます。トリガーメールを送信するスケジュールは、AlmaのSUDOCセントラル統合プロファイルで定義されます。[SUDOCのセントラル目録統合プロファイルの設定](#)を参照してください。

## SUDOCワークフロー

SUDOC 統合ワークフローは、次のように処理されます。

- 統合ジョブ：
  - スケジュールの頻度に応じて、統合プロファイルは、受信メールをサンプリングして、新しいファイルがABESのFTPサーバーにあるか（インポートを待機しているか）を確認します。
  - スケジュールの頻度に応じて、EメールがライブラリからABESに送信され、ライブラリの更新をリクエストします（GET TITLE DATAの件名でメールの本文の上部で説明されるコンテンツと共に）。
  - ファイルのリストで新しいメール（GTD Status : 0）が検出された場合、ジョブはABESのFTPサーバーまたはSFTPサーバーにアクセスし、ファイルを取得します（FTPサーバーまたはSFTPサーバーの詳細に応じてSUDOCインポートプロファイルに設定されます）。ABESはFTPサーバーまたはSFTPサーバーのファイルを管理します。
  - GTDステータスが0以外の場合、ファイルは処理されず、エラーが報告されます。
  - 正常なEメールに含まれるファイル（GTD Status : 0）がSUDOCインポートジョブによって処理されます。
- インポートジョブ：
  - 正常なEメール（GTD Status : 0）の場合、SUDOCインポートプロファイルはファイルを処理し（ステータスはOK）、ライブラリのリポジトリが更新されます。

- 。 ABESのFTPサーバーまたはSFTPサーバーに複数のファイルがある場合、ファイルは発生順に1つずつ処理されます。
- 。 タイプA（書誌更新）のみが処理されます。他のタイプはエラーとして報告されます。

## SUDOCのセントラル目録統合プロファイルの設定

SUDOCと統合するには、セントラル目録統合プロファイルを設定する必要があります。

**SUDOCのセントラル目録統合プロファイルを設定するには：**

1. 統合プロファイルリストページ（設定メニュー>一般>外部システム>統合プロファイル）で、統合プロファイルを追加を選択します。
2. 統合プロファイルのコードと名前を入力します。
3. 統合タイプドロップダウンリストからセントラル目録統合を選択します。
4. [次へ]を選択します。統合プロファイル設定の次のページが表示されます。
5. 以下の表を使用して詳細を確認し、統合プロファイルを完成させます。

セントラル目録統合 - SUDOC

フィールド	説明
セントラル目録システム	
システム	<p>設定するセントラル目録システムタイプとして<b>SUDOC</b>（ファイルベース）を選択します。</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>機関ごとに設定できるセントラル目録統合プロファイルは1つだけです。</p> <hr/>
システム設定	
Abes Eメール	GET TITLE DATAのメールが図書館のEメールアカウントから送信されるABESのEメールアドレスを入力します（AlmaのEメールアカウントではありません）。
図書館 ILN	SUDOCで識別されるライブラリ番号を入力します。この番号は、ABESに送信されるGET TITLE DATAのメールの一部になります。
図書館Eメール	ABESのリクエストアップデートに送信されるEメールの図書館のEメールアドレスを入力します。これらのEメールの件名はGET TITLE DATAでなければなりません。
E-mail サーバ ーホスト	図書館のEメールサーバー（Almaサーバーでない）のIPアドレスを入力します。

フィールド	説明
E-mail サーバ ーポート	図書館のEメールサーバー（Almaサーバーでない）のポート番号を入力します。
ユーザー名	図書館のEメールサーバーのユーザー名を入力します。
パスワード	図書館のEメールサーバーのパスワードを入力します。
FTP サーバー	ABESのFTPサーバーまたはSFTPサーバーのアドレスまたはIPを入力します。
FTPサブディ レクトリ	ABESによってファイルが配置されるFTPディレクトリを入力します。
発注番号	ABESに送信されるGET TITLE DATAのEメールに含まれる図書館のオーダー番号を入力します。
スケジュール	スケジュールオプションの1つを選択して、ABESにEメールを送信し、受信ボックスをサンプリングして確認する頻度を定義し、ABESからの新しいファイルを検出します。  実行するを選択して、この統合プロファイルを手動で実行することもできます。

6. **[保存]**を選択してください。

## ABESまたはSUDOC統合処理のインポートプロファイルの設定

Almaカタログに紐むABESまたはSUDOCセントラル目録で変更されるレコードの場合、Almaインポートプロファイルを設定する必要があります。このAlmaインポートプロファイルが正しく機能するためには、上記の [\[SUDOCのセントラル目録統合プロファイルの設定\]](#) で説明があるように、特定の設定パラメータが [SUDOCセントラル目録統合] プロファイルで特定したパラメータと一致する必要があります。

**ABESまたはSUDOC統合処理のインポートプロファイルを設定するには：**

1. [インポートプロファイル]ページ（[\[リソース\]](#)>[\[インポート\]](#)>[\[インポートプロファイルの管理\]](#)）から **[新しいプロファイルを追加する]** を選択します。
2. リポジトリプロファイルタイプを選択し、次を選択します。
3. ウィザードのステップのインポートプロファイルの詳細を入力し、パラメータオプションの説明については、以下の表を使用してください。

SUDOCインポートプロファイル

フィールド	説明
ウィザードステップ2：	
プロファイルの詳細	

フィールド	説明
プロファイル名	SUDOCインポートプロファイルの名前を入力します。
プロファイルの説明	このパラメータを使用して、作成するプロファイルをさらに説明および識別します。
発信元システム	オプションのリストからSUDOCシステムを選択します。
ファイル名のパターン	<p>ABESのFTPサーバーまたはSFTPサーバーに保管されるファイルに対してABESが使用するプレフィックスパターンを入力します。例：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>TRで始まるファイルの場合、^TRを使用します</li> <li>RAWで終わるファイルの場合、RAW\$を使用します</li> <li>ファイルタイプAとファイルタイプBが指定されているときにファイルタイプAを取得するには、Aを使用します</li> </ul>
プロトコルをインポートする	ドロップダウンリストからFTPを選択します。
Crosswalk	いいえを選択します。
物的ソースフォーマット	バイナリを選択します。
エンコーディング	UTF-8を選択します。
出典フォーマット	UNIMARC書誌を選択します。
ターゲットフォーマット	UNIMARC書誌を選択します。
ステータス	インポートプロファイルを使用する準備ができたなら、アクティブを選択します。
スケジュールしています	
インポートするファイル	新規を選択します。
スケジューラーのステータス	スケジューラオプションを選択するには、アクティブを選択します。
スケジューラー	ドロップダウンリストから要件に一致するスケジュールオプションを選択します。
Eメール通知通知	Eメール通知を選択し、スケジュールされたジョブに関する通知に使用するEメールアドレスを入力します。
<b>FTP情報</b>	
説明	FTPまたはSFTPの説明を入力します。
サーバー	FTPサーバーまたはSFTPサーバーのアドレスを入力します。これは、作成したセントラル目録

フィールド	説明
	プロファイルの情報と一致する必要があります。 <a href="#">SUDOCのセントラル目録統合プロファイルの設定</a> を参照してください。
ポート	FTPサーバーまたはSFTPサーバーのポート番号を入力します。
ユーザー名	FTPサーバーまたはSFTPサーバーのユーザー名を入力します。
パスワード	FTPサーバーまたはSFTPサーバーのパスワードを入力します。
入力ディレクトリ	ABESによってファイルが配置されるFTPディレクトリを入力します
最大ファイル数	FTPファイルの最大数を入力します。
最大ファイルサイズ	ドロップダウンリストから、1つのファイルの最大ファイルサイズを選択します。
サイズのタイプ	ドロップダウンリストから、サイズタイプ（MB、GB、またはTB）を選択します。
FTPサーバー保護	保護されたサーバーの場合は、このチェックボックスをオンにします。
FTPパッシブモード	パッシブモードの場合は、このチェックボックスをオンにします。
テスト接続	テスト接続を選択し、設定したパラメータが適切に機能することを確認します。
ウィザードステップ3：	
フィルター	
次を使用してデータを絞り込む	フィルタリングの要件に一致する正規化オプションを選択します。
正規化	
データ利用を修正する	データを修正するための要件に一致する正規化ルールを選択します。
検証例外プロファイル	
無効なデータ使用を処理する	保存時のUnimarcXML書誌メタデータ編集を選択します。
ウィザードステップ4：	
一致プロファイル	
逐次刊行物の一致方法	035（その他のシステム識別子）一致方法を選択します。
システム識別子接頭辞	システム識別子プレフィックスがある場合は、それを指定します。
非逐次刊行物の一致方法	035（その他のシステム識別子）一致方法を選択します。
システム識別子接頭辞	システム識別子プレフィックスがある場合は、それを指定します。

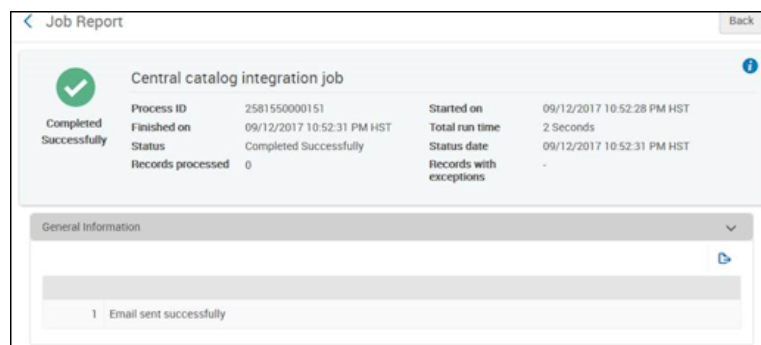
フィールド	説明
一致アクション	
取扱い方法	自動を選択します。
一致時	オーバーレイを選択します。
統合またはオーバーレイ	<p>以下から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 併合方法 - ローカル以外のすべてのフィールドをオーバーレイする</li> <li>◦ アクションを選択する - 要件に一致する次のアクションのいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 書誌レコードの削除を許可する</li> <li>▪ 下位の要約バージョンでレコードを上書き/統合しない</li> <li>▪ コミュニティゾーンからの書誌レコードのリンク解除</li> </ul> </li> <li>◦ 古いバージョンで上書きまたは統合しない - 無効にするを選択します。</li> </ul>
自動複数一致処理	
アクションを選択	<p>必要に応じて、要件に一致する次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ CZにリンクされた書誌レコードの一致項目を無視する</li> <li>◦ 無効/キャンセル済みのシステム制御番号識別子を無視する</li> <li>◦ 同じ目録タイプ（電子/冊子）のレコードが好ましい</li> <li>◦ 未解決のレコードをスキップしてインポートしない</li> </ul>
複数マッチのレコードの統合および目録の結合	
統合して結合する	無効にするを選択します。
優先レコード	最も多くのアイテムを含むレコードを選択します。
セカンダリレコード	<b>[削除]</b> を選択します。
統合方法	ローカル以外のすべてのフィールドをオーバーレイするを選択します。
所蔵請求番号を更新	インポート時に所蔵請求番号を更新する場合は、このオプションを選択します。
レコードのリダイレクトを処理する	
取り消されたレコードフィールド または取り消されたレコードサブ フィールド	取り消されたレコードのフィールドまたはサブフィールドを指定します。
キャンセルされたレコード	<b>[削除]</b> を選択します。
統合方法	ローカル以外のすべてのフィールドをオーバーレイするを選択します。
所蔵請求番号を更新	所蔵の請求番号を更新する場合は、このオプションを選択します。
一致なし	

フィールド	説明
不一致時	インポートを選択します。
ウィザードステップ5:	
このプロファイルを使用してインポートされたすべてのレコードに管理タグを設定する	
出版/配送からのレコードをサブレス	インポートしたレコードで、これらのレコードを非表示にする場合は、このオプションを選択します。
OCLCと同期	公開しないを選択します。
Libraries Australiaと同期	公開しないを選択します。
ウィザードステップ6:	
目録操作	
	なしを選択します。

4. [保存]を選択してください。

## SUDOCジョブレポート

SUDOC統合プロファイルジョブとインポートジョブが完了すると、正常なジョブと失敗したジョブについて次のタイプのジョブレポートが生成されます。



**SUDOCジョブレポート - 正常**

### Central catalog integration job

**Completed with Errors**

Process ID	2583290000151	Started on	09/13/2017 01:30:27 AM HST
Finished on	09/13/2017 01:30:29 AM HST	Total run time	2 Seconds
Status	Completed with Errors	Status date	09/13/2017 01:30:29 AM HST
Records processed	0	Records with exceptions	-

Alerts

The job completed with errors. For more information view the report details (or contact Support using the process ID).

General Information

1 Failed to send Email: Authentication failed

### SUDOCジョブレポート - 失敗